

日田市では、高齢者人口がここ20年で約4千人増えています。一方、日田市老人クラブ連合会は今年の4月現在、会員数はピーク時(平成13年)に比べ、3

## 現状

「社会奉仕活動」などの幅広い活動を行い、老人福祉法に基づいて市も財政的な支援等を行っています。  
加入は強制ではありませんが、多くの会員が集う魅力は、①同世代や世代間交流によって地域に新しい仲間ができること②多様な活動やスポーツが健康の保持・増進、さらには介護予防や医療費削減にもつながること③これまでの仕事や趣味などの知識を生かし、能力を発揮できる機会が増えること④環境や福祉活動などによって、社会活動への参加と貢献ができること⑤地域に多くの仲間が増えることで、心の安らぎや充実感が得られることなどが挙げられます。



写真は、グラウンドゴルフ大会での一幕。いつも和気あいあいとした温かい雰囲気、行われています。

## 老人クラブ・その魅力とは

老人クラブは、地域で生活するおおよそ65歳以上(各地域で加入年齢が異なります)の人で自主的に組織された団体です。「生きがいづくり」「健康づくり」

## 新規会員を増やすために

この状況を打破するため、会員へのアンケートを実施。延べ218人の会員が会議を15回重ね、クラブのあり方について議論を深め、令和3年の1月末に基本

分の1以下の2749人に減り、クラブ数もほぼ半減の73。75歳以上が会員の約85%を占め、60代の若手会員はわずか46人で、全体の2%にとどまっています。

方針を策定しました。その中で、将来ビジョンとして、

「健康で明るく楽しい

老人クラブづくり」を目指す

を掲げました。その実現のために、「みんなで仲良く助け合い、協力しながら老人クラブ活動を一歩前に進める」「新規会員の加入促進に積極的に取り組む、次の世代につなげていく」などの8つの柱も設定しました。

## 知ってほしい老人クラブの活動

また、令和2年度からは新規加入のための「会員一人ひと声運動」(3年間)を実施しています。会員の一致団結によって、令和2年度136人、令和3年度163人の新規加入があり、現在会員の減少数は、県下14市で2番目に少なくはなっています。今後も新規加入の声掛け運動を積極的に行っていきます。

加入することをためらっていた人も、「加入してみると楽しい」と話す人がたくさんいます。老人クラブの活動を知らない人も、なかなか一歩を踏み出せない人もいるのではないだろうか。老人クラブは、趣味等が多様化したことでいろいろな人が活動できるよう、さらに魅力あるクラブを目指して取り組んでいます。地域で高齢者の占める割合が高くなっている今、高齢者自身が元気に過ごしている、高齢者自身が必要ありません。生きがいや仲間が増え、笑顔で過ごす高齢者が増えることは、その人自身だけでなく、地域や社会にとっても素晴らしいことです。老人クラブの活動を少しでも多くの人に知ってもらい、今特集をきっかけに、「幸」齢者を増やしていきます。



## 1 | 特集 この場所で、ずっと生き生き暮らしたい

# 人生100年時代を目指して!

高齢者が生きがいや仲間づくり、地域づくりなどを行う「日田市老人クラブ」。そんな日田市老人クラブは、今年で結成60周年を迎えました。趣味や運動、集会など、それぞれの「生きがい」と「仲間」を見つけて活躍する「幸」齢者を増やしませんか。

☒長寿福祉課長寿福祉係 ☎2299 (市役所1階)  
☒地方創生推進課シティセールス係 ☎8627 (市役所6階)